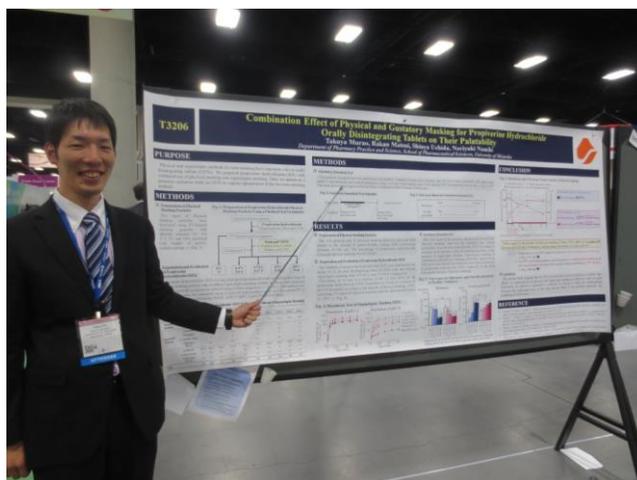


2014 AAPS(米国薬学会)年会にてポスター発表

2014年11月4日に米国カリフォルニア州サンディエゴで開催された2014 AAPS Annual Meeting and Exposition (米国薬学会年会)にて、「プロピペリン塩酸塩口腔内崩壊錠の服用性に対する物理的および官能的マスキングの組み合わせ効果」というタイトルでポスター発表を行った。本学会(American Association of Pharmaceutical Scientists, AAPS)はアジア、ヨーロッパ、アメリカ等、世界各国から約8500人の研究者や学生が参加しており、ドラッグデザイン、DDS、製剤開発および臨床薬理等、他方面にわたる分野の発表について活発に議論が行われていた。

初の英語での発表ということもあり緊張していたが、日本以外の人と積極的にディスカッションしたことで自らの研究に対する違った見方や日本国外での状況などについても知ることができたので、非常に有意義なものになった。ただ自分の英語力不足により上手く伝えられない部分もあったので、今後英語でのプレゼンテーション力を高めたい。本学会においてこのような貴重な発表の機会を与えていただいた事に深く感謝するとともに、得られた知識や経験を自らの研究に活かしていきたいと思う。



薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 実践薬学講座
博士前期課程2年 村尾 卓哉